

4月度 訪日外国人旅行者の動向（関西*）

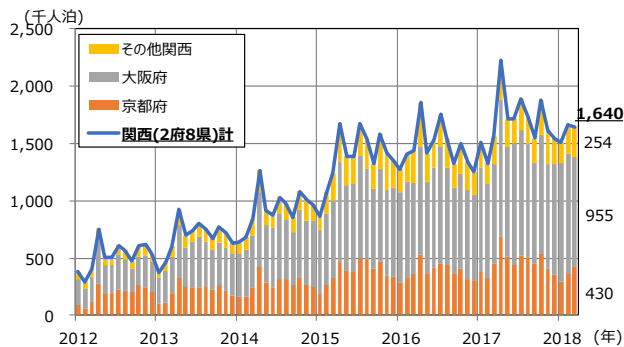
○2018年4月の外国人入国者数は73万5,850人で、単月過去最高を更新。伸びも、13カ月連続で2桁増と好調が続く。また、国籍別（3月）では韓国が7カ月連続で最多。アジア圏だけでなく、欧米からの訪日客も増加している。

○4月の関西地区の百貨店免税売上高は122.8億円で単月過去最高額を更新。18カ月連続の前年比増加。単価は6万8,880円で12カ月連続の同増加。リピーターが多い化粧品、宝飾品や時計などの高額品の売れ行きが好調だった。

(1) 外国人延べ宿泊者数の推移

2018年3月の関西の外国人延べ宿泊者数は、164.0万人泊となり、前年同月比+4.3%と13カ月連続で増加が続いている。府県別にみると、大阪府で95.5万人泊（同+10.6%、13カ月連続）、京都府で43.0万人泊（同-5.5%、2カ月ぶり）、その他関西で25.4万人泊（同+0.5%、2カ月連続）であった。中でも、大阪府は8カ月連続の2桁増と依然好調である。

外国人延べ宿泊者数(2018年3月まで)



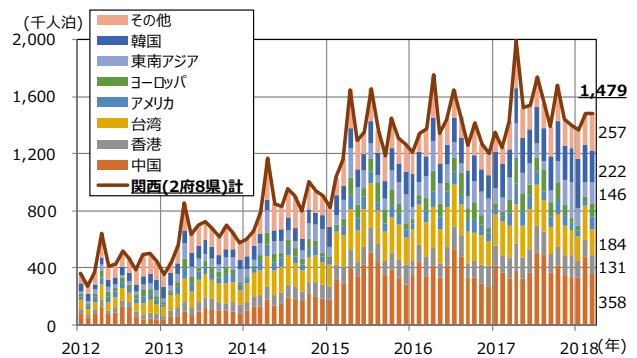
(注) 2017-18年の値は速報値
(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

(2) 国籍別外国人延べ宿泊者数

3月の関西の外国人延べ宿泊者数を国籍別にみると、最も多かったのは、前月に続き中国で35.8万人泊（前年同月比+10.1%、2カ月連続）となった。次に韓国で22.2万人泊（同+10.7%、2014年8月以来44カ月連続）、台湾が18.4万人泊（同-18.4%、5カ月連続）、香港が13.1万人泊（同-11.2%、2カ月ぶり）、アメリカは8.9万人泊（同-0.5%、3カ月連続）であった。また、東南アジア全体では、14.6万人泊（同-6.0%、2カ月連続）、ヨーロッパ全体では9.3万人泊（同+6.8%、7カ月連続）となっていた。

*本レポートでは、特に断らない限り、関西とは、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、福井県及び三重県の2府8県としている。

国・地域別外国人延べ宿泊者数の推移(2018年3月まで)



(注) ヨーロッパはイギリス、ドイツ、フランス、ロシア、イタリア、スペインの合計。東南アジアはシンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、フィリピンの合計。従業員数10人以上の施設。
(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」(下図も同様)

国籍別外国人延べ宿泊者数(2018年3月)

(単位:人泊, %)

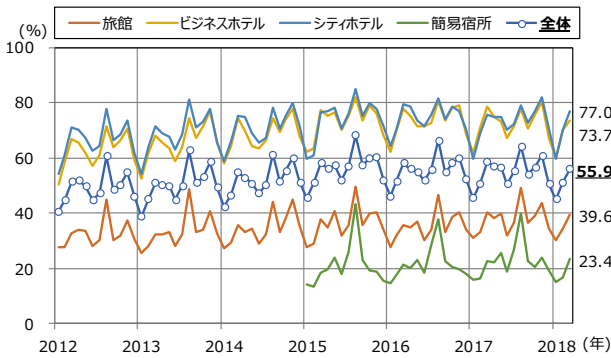
順位	国名	宿泊者数	構成比	全国シェア	前年比
1	中国	357,510	24.2	26.1	10.1
2	韓国	221,990	15.0	24.2	10.7
3	台湾	184,190	12.5	20.3	-18.4
4	香港	130,740	8.8	26.9	-11.2
5	アメリカ	89,250	6.0	18.0	-0.5
6	タイ	54,920	3.7	18.7	-4.6
7	オーストラリア	38,370	2.6	23.7	-0.0
8	シンガポール	26,660	1.8	20.0	14.6
9	イギリス	23,510	1.6	22.3	5.4
10	フィリピン	20,000	1.4	24.6	11.5

(注) 速報値。従業員数10人以上の施設。
各項目の計算方法については下記の通り。
構成比 = 当該国の宿泊者数 ÷ 関西の合計宿泊者数
全国シェア = 関西で宿泊した国籍別外国人宿泊者数 ÷ 全国の国籍別外国人宿泊者数
前年比 = (当月の国籍別宿泊者数 ÷ 前年の国籍別宿泊者数 - 1) × 100

(3) 宿泊施設タイプ別客室稼働率

3月の関西の客室稼働率は全体で55.9%となり、前年同月と比べて-2.6%ポイント低下し、2カ月ぶりに下落した。タイプ別にみると、最も稼働率が高かったのはシティホテルで77.0%、次にビジネスホテルで73.7%、旅館は39.6%、簡易宿所は23.4%であった。

宿泊施設タイプ別客室稼働率の推移(2018年3月まで)



(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」(下図も同様)

府県別宿泊施設タイプ別客室稼働率(2018年3月)

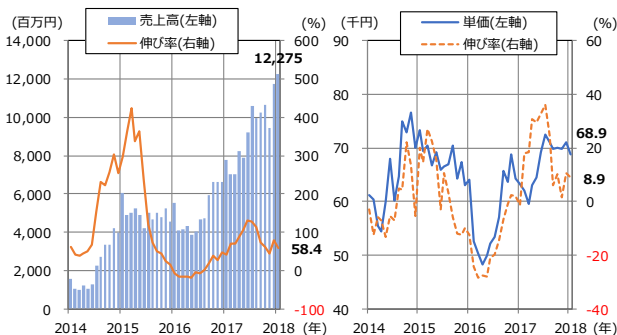
	関西	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	徳島	福井	三重
全体	55.9	51.8	66.9	82.8	58.5	49.2	46.6	53.2	53.8	44.1	51.7
旅館	39.6	34.4	43.2	54.0	44.0	34.8	39.5	40.2	36.1	24.8	45.4
リゾートホテル	59.4	63.4	49.9	91.8	67.8	85.0	64.4	6.1	62.4	50.8	52.0
ビジネスホテル	73.7	65.1	79.2	84.9	75.1	72.7	66.4	68.2	77.0	81.9	66.0
シティホテル	77.0	68.9	83.8	90.2	73.7	74.7	77.4	78.0	65.5	75.4	81.9
簡易宿所	23.4	14.1	32.0	59.3	12.9	20.0	30.2	22.4	15.0	17.8	10.6
会社・団体の宿泊所	20.1	11.8	39.5	35.4	26.9	29.0	5.0	1.4	25.3	11.0	15.8

(4) 百貨店免税売上の推移

4月の関西地域の百貨店免税売上高は122.8億円で、単月として過去最高額を更新。2カ月連続で100億円を超えた。伸びも前年同月比+58.4%と18カ月連続で増加した。また、件数も17万8,209件(同+45.4%)とこちらも単月過去最高を更新。単価は6万8,880円で伸びは同+8.9%と12カ月連続で増加した。

花見のシーズンで訪日客が引き続き増加していること、リピーターが多い化粧品、宝飾品や時計といった高額品の売れ行きが好調であったことなどが影響したとみられる。

百貨店免税売上高と単価の推移(2018年4月まで)



(注) インバウンド需要の観点から主要とみられる大阪、京都、神戸の百貨店各店舗における外国人旅行者などの非居住者による消費税免税商品の購入額および件数(免税申請ベース)。

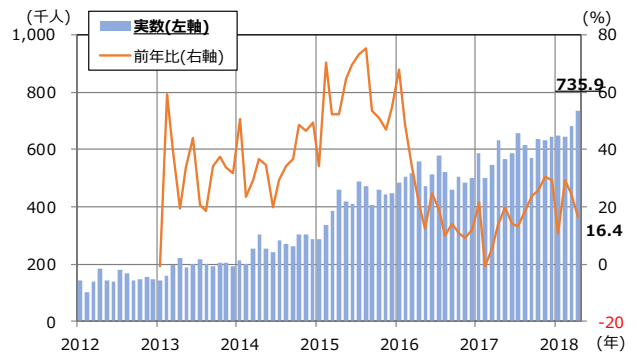
(出所) 日本銀行大阪支店「関西地区百貨店免税売上」

(5) 関西国際空港の利用状況

① 関西国際空港における入国者数

2018年4月に関西国際空港(以下「関空」という。)を利用して入国した外国人の数は、73万5,850人となり、単月で過去最高を更新した。伸びも、前年同月比+16.4%と14カ月連続で増加。また、13カ月連続で2桁増と好調が続いている。

外国人入国者数と伸び率の推移(2018年4月まで)



(出所) 一般社団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

② 国籍別の関空訪日外客数

関空訪日外客数を国籍別・地域別にみると、3月は韓国からの入国者数が19万904人(前年同月比+36.1%)となり、7カ月連続で最多となった。次いで、中国(香港除く)が18万749人(同+39.1%)、台湾が9万5,925人(同-0.3%)、香港が6万1,032人(同+16.9%)であった。

他のアジア各国は、タイが2万9,922人(前年同月比+24.6%)、マレーシアが1万6,987人(同+12.5%)、フィリピンが1万1,681人(同+20.2%)、ベトナムが8,634人(同+27.7%)、インドネシアが6,116人(同-28.8%)であった。

国籍別訪日外客数(2017年4月~2018年3月)

年	月	全体	韓国	台湾	香港	中国	タイ	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム	英国	ドイツ	フランス	スペイン	米国	豪州	
2017	4	632	166	105	65	129	36	15	11	17	9	5	3	7	2	15	9	
	5	564	164	99	55	125	22	12	6	13	4	4	3	5	2	14	5	
	6	585	172	109	66	137	12	10	9	9	4	3	2	3	2	16	4	
	7	655	196	106	71	186	12	6	6	6	5	4	2	5	3	14	3	
	8	616	185	91	61	195	7	6	3	6	5	3	2	4	3	11	3	
	9	571	170	87	48	170	12	9	5	6	6	4	3	3	2	11	6	
	10	634	191	100	47	162	25	14	6	12	8	4	4	6	3	14	5	
	11	632	192	93	57	156	29	19	6	11	6	4	2	4	1	14	6	
	12	644	210	79	61	143	32	20	11	13	4	4	2	2	1	13	9	
	1	648	250	81	46	166	23	10	6	10	6	3	1	2	1	9	9	
	2018	2	645	215	98	51	188	22	12	4	7	6	3	2	2	1	8	5
		3	679	191	96	61	181	30	17	6	12	9	5	4	4	3	17	8

(出所) 財務省「出入国管理統計」

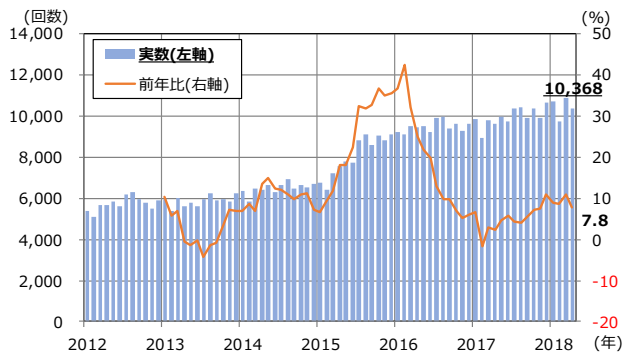
他地域を見ると、欧州全体では2万6,677人(前年同)

月比+21.5%)、うち英国が 5,198 人(同+22.7%)、フランスが 4,294 人(同+5.5%)、ドイツが 3,810 人(同+29.4%)であった。また、米国が 1 万 7,255 人(同+32.0%)、豪州が 7,908 人(同+45.7%)であった。アジア圏だけでなく、欧米からの訪日客も増加している。

(6) 関空国際線航空機発着回数

4 月の国際線の発着回数(旅客便)は 10,368 回(前年同月比+7.8%)と 14 カ月連続の増加。2 カ月連続で 1 万回を超え、高水準が続いている。

関空国際線航空機発着回数(旅客便, 2018 年 4 月まで)



(出所) 関西エアポート株式会社「関西国際空港・大阪国際空港利用状況(速報値)」